

まごころ

紅

Vol.51
2016
冬号

目次

まごころについて

新年のご挨拶

院長 清水 聡

病棟イベント

「運動会」

「昭和歌謡ショー」

「クリスマス会」

「クリスマスコンサート」

病院行事

「餅つき」

「自衛消防訓練」

健康教室

在宅療養あんしん病院
登録システムについて

「まごころ」

- ・ 真実の心
- ・ 偽りや飾りのない心
- ・ 誠意

平成7年から続く「まごころ医療宣言」は、患者さまの権利を守り、より快適でより安心していただける病院を目指すために、仁風会の職員行動規範として定められました。

仁風会が大切にする「まごころ」の文字を冠した本誌は、京都南西病院がまごころ医療宣言に則して患者さま第一主義を貫き、成長を続ける姿をみなさまに発信するためのものであると同時に、職員自らが行動や取り組みを顧みるためのものでもあります。

この「まごころ」を通じて、よりよい病院づくりのために一層の努力を行い、地域への貢献を確かなものにしていききたいと京都南西病院は考えています。

新年のご挨拶

京都南西病院 院長 清水 聡

明けましておめでとうございます。日頃より保健・医療・介護活動へのご協力ありがとうございます。

さて、現在当院は介護療養病棟、医療療養病棟、そして回復期リハビリテーション病棟の3病棟から成っており、重篤な身体疾患を持った患者様、昼夜を問わず医療行為の必要な患者様やターミナルケアが必要な患者様、リハビリテーションを終え自宅に戻られる患者様まで幅広い方々が入院されています。またショートステイをご利用いただきながら在宅生活を送っている方も多くいらっしゃいます。そこで当院の次のステップとして、基本的には自宅で生活しながらも必要な時はいつでも診察や入院ができるといった、よりいっそう地域に根付いた体制作りが必要ではないかと考えております。

昨年を表す漢字は「安」でした。気持ちが不安になるようなニュースが多かったように思いますが、当院はこれからも安心・安全と必要な医療・介護を提供しつつ、地域に密着した在宅支援を行っていくよう努力を続けてまいります。本年もどうかよろしく願いたします。



平成27年 10月9日 病棟イベント『運動会』

勝負となれば真剣そのもの

患者様による赤組白組対抗運動会です。出場される患者様たちは各組のハチマキを頭に巻き、「ボウリング」、「魚釣りゲーム」、「もの運びリレー」の3種目を競っていただきました。

接戦の末、今年の勝利チームは赤組となりましたが、ご参加いただいた患者様全員が一生懸命に取り組まれている姿から、勝ち負け以上の素晴らしいドラマを見ることができました。また来年も運動会を全身で楽しみましょう。



平成27年 11月11日 病棟イベント『昭和歌謡ショー』

古き良き昭和歌謡

懐かしい昭和の歌謡曲を楽しく聞いていただくとうと、職員が越路吹雪や八代亜紀になりきって歌謡ショーを行いました。曲目は「サントワマミー」と「雨の慕情」に加え「憧れのハワイ航路」や「上を向いて歩こう」などで、ペンライトが輝くステージに特別な衣装に身を包んだ職員が順に登場。想像以上の歌唱力にみなさん驚かれたようで、大きな拍手が何度も送られていました。最後にはディナーショーさながらに握手をしながら会場を歩き回るなど、本物の歌手だと思えるほどの堂々たるショーでした。



平成27年 12月18日 病棟イベント『クリスマス会』

小さなサンタクロース達が登場！



今年のクリスマス会には、
こが保育園から例年よりもた
くさんの園児たちが来てくれ
ました。
「赤鼻のトナカイ」や「あ
わてんぼうのサンタクロース」
などのクリスマスにちなんだ
曲を合唱した後、患者様と一
緒に「ずいずいずつころばし」
の手遊びをしてくれました。
最後には園児たち手作りの
プレゼントとお菓子を交換し、
元気いっぱいの子のクリスマス会
となりました。

平成27年 12月24日 特別企画『クリスマスコンサート』

特別な思い出を。。。



クリスマスの特別
なコンサートを3階
の回復期リハビリテ
ーション病棟で行い
ました。
日ごろの業務の合
間を縫って、職員た
ちがこの日のために
練習してきました。
いろいろな楽器によ
るバンド演奏で、ク
リスマスにちなんだ
曲の演奏や、「星に願
いを」の独唱を披露
し、ささやかながら
心温まるコンサート
となりました。



平成27年 11月 6日 病院行事『白衛消防訓練』

実際の状況に近い訓練を実施

万が一の事態に備えて毎年行っている自衛消防訓練ですが、今回も人手の少ない夜間を想定した状況での初期消火および避難誘導などについて、消防署の方にご指導いただきました。



実際の火災では、恐怖心から部屋の隅などに人が隠れたりすることもあるということで、今回は部屋の死角やトイレの中などに患者様に扮した職員が隠れる工夫をし、あわただしい状況でも速やかに全員を発見して避難誘導するという訓練を行いました。

また10月には、全61の事業所が消火器や消火栓などの操作訓練を行う伏見自衛消防隊訓練大会にも参加しました。万が一に備えての訓練は真剣そのもので、お互いの訓練を見て刺激を受けられる貴重な機会でした。今後も、火災から患者様をお守りするための術を磨き続けたいと思います。



平成27年 12月28日 病院行事『餅つき』

年末の恒例行事

「よいしょーっ、よいしょーっ」と威勢の良いかけ声とともに年内最後の行事「餅つき」が行われました。会場には蒸したもち米の良い香りが広がり、餅つきの雰囲気を一層引き立てます。医師やリハビリスタッフなど3人のつき手と病棟スタッフによる返し手の息の合った見事な技で、あっという間につきあがりました。つきたての餅は鏡餅にして病棟に飾られました。

餅つきの後、患者様におしることぜんざいを振舞わせていただき、「甘くて美味しい」、「ほっとするね」などの感想をいただきました。いよいよ年の瀬が迫っているなと感じるひと時となりました。



『かわいい贈り物』

京都南西病院の院内保育所である دونالد 保育園から、正月用の壁飾りが届きました。園児たちが季節に合わせて一生懸命作ってくれるこの壁飾りは、1階薬局横に展示しています。子供たちの素直な気持ちに触れると心が和みますね。



12/19

健康教室を開催

認知症について学ぼう！

～医師と管理栄養士の視点から～

今回の健康教室は二部構成で、第一部を清水院長が、第二部を七尾管理栄養士が担当しました。

【第一部】

認知症と物忘れとの違いについてや認知症の種類について、具体的な症状などを例にご紹介し、治療方法や予防方法などについてもお話ししました。

【第二部】

認知症予防のための食事について、豆・ゴマ・ワカメ・野菜・魚・しいたけ・芋の、それぞれの食材の良い部分を説明し、頭文字を取って「まごわやさしい」という覚えやすい言葉をご紹介しました。



次回 健康教室 のご案内

平成28年 4月 開催予定

場所：京都南西病院 1F機能訓練室

開催内容および日時詳細については決定次第に別途お知らせいたします。

ご意見箱について

京都南西病院では下記場所にご意見箱を設置しています。いただいたご意見とそれに対する回答は随時受付前に掲示しております。より良い病院づくりのため、みなさまのご協力をお願いいたします。

ご意見箱 設置場所

- 1階 自動販売機横
- 3階 詰所横
- 4階 食堂談話室
- 5階 食堂談話室



在宅療養あんしん病院 登録システム



在宅療養あんしん病院
京都地域包括ケア推進機構

本システムに登録をすることで、事前にかかりつけ医と登録病院及び在宅療養を担当するチームとの連携を作り上げることができ、体調を崩された時でもよりスムーズな受診が可能です。あらかじめお選びいただいて登録した病院で詳しい診察や入院対応を行うので、患者様やそのご家族の不安解消にも役立っています。

1

かかりつけ医

かかりつけ医が診察し、必要があれば登録しておいた病院へ連絡。

2

在宅療養 あんしん病院

登録しておいた病院で診察、及び状況により入院治療。

3

在宅療養を支援

早期退院と在宅療養をチームでサポート。ご家族も安心です。

対象となる方

京都府在住の65歳以上の方で、次のような在宅療養中の方が対象となります。

- 訪問診療を受けている方
- かかりつけ医に定期的に通院されている方

登録無料

京都南西病院は「あんしん病院」としての登録はもちろん、「かかりつけ医」としてもご利用が可能です。

(あんしん病院指定番号：サ-6)



京都南西病院では、外来診察や入院治療だけでなく在宅介護関連事業も幅広く行っております。本システムご利用方法などについても、詳しくご説明させていただきますので、ご不明な点やご不安な事などがありましたら、何なりとお気軽にご相談ください。

※登録の際は必ずかかりつけ医にご相談ください。

一般財団法人 仁風会

京都南西病院

〒612-8494

京都市伏見区久我東町 8-22

TEL:075-922-0321

URL: www.jinpukai.or.jp

『まごころ』

題字：理事長 清水 紘

表紙写真：「雪が恋しい」

・・・ 編集後記 ・・・

新年明けましておめでとうございます。京都南西病院は今年もご利用満足度向上のための努力を欠かさず、患者さまと心の距離が近い病院を目指してまいります。

比較的暖かい冬ですが、朝晩は冷える日も出てきましたので、くれぐれも体調を崩されませんようご自愛ください。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【編集委員】

目片明・髭田祐季・坂本圭亮・田中りか・上野綾子・水谷三津子・福島直人・河原亮・加藤泰子・清水聡